

同志社大学

2014年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2015年 4月 6日提出

所 属	職 名	氏 名
社会学部	准教授	野村裕美
研 究 題 目	事例を用いた研修方法についての研究 多職種連携教育に関する研究	
研 究 成 果 の 概 要	<p>① 論文 野村裕美 (2014) 「住民と協働する個別支援ワーカーの養成研修—対話をベースにした人材育成」『月間福祉 2014 年 8 月号』,全国社会福祉協議会</p> <p>② 著書分担執筆 野村裕美 (2015) 「多職種連携とソーシャルワーカー」『新基礎からの社会福祉 ソーシャルワーク』,空閑浩人編著,ミネルヴァ書房,第 8 章</p> <p>③ 著書分担執筆 野村裕美 (2015) 「ソーシャルワーカー養成のための新たな方法—ケースメソッド (対話型研修) の活用」『福祉ガバナンスとソーシャルワーカー—ピネット調査による国際比較』,上野谷加代子・斉藤弥生編著,ミネルヴァ書房,第 8 章</p> <p>④ 著書分担執筆 野村裕美 (2015) 「ケースメソッドにおけるピネットの活用—ピネットが誘発するソーシャルワーカーの仮説・経験」『福祉ガバナンスとソーシャルワーカー—ピネット調査による国際比較』,上野谷加代子・斉藤弥生編著,ミネルヴァ書房,第 10 章</p> <p>⑤ 口頭発表 麻生いずみ・渡邊一真・野村裕美・所めぐみ「都道府県社会福祉協議会による市町村社協支援 (人材育成等) の一考察—ケースメソッドを活用したコミュニティワーカー研修の可能性—」,日本地域福祉学会第 28 回大会,松江市.</p> <p>⑥ 口頭発表 野村裕美「対話型研修におけるピネットの活用—ピネットが誘発するソーシャルワーカーの仮説・経験—」,日本地域福祉学会第 28 回大会,松江市.</p>	

- | | |
|--|--|
| | <p>⑦ 口頭発表 野村裕美「コミュニティソーシャルワーカーの養成教育を考えるー自分の身に置き換える体験とそこから考察するカー」,2014年度全国社会福祉教育セミナー第三分科会,愛知県知多郡.</p> |
|--|--|